

⑧成果物

未来へつなぐ しが文化活動応援事業

活動番号 0629-0098

活動名称 第22回おおつなごみの会 狂言と小舞の会

代表幹事 高野 二紫子

おおつなごみの会

平成8年から年に一度、大津市伝統芸能会館にて、狂言と小舞の会発表会を開催しております。

京都の大蔵流茂山七五三先生を師として、滋賀県民の会員で狂言や小舞のお稽古を重ねてきました。現在、七五三先生のご子息で、テレビなどでもご活躍の宗彦先生に来ていただき、お稽古に励んでおります。毎年発表会には地域の方々に来場していただくことで、古典芸能の狂言や小舞の面白さを知ってもらい、古典芸能の伝承の大切さを身近に感じてもらうために、大蔵流茂山家から本物の衣装や小道具をお借りし、一部狂言では、茂山家のプロによる出演、また小舞では茂山家の先生方に謡をうたっていただいております。

しかしこのコロナ禍で、一昨年は断腸の思いで発表会開催を断念しました。私たちでもできる限りの感染症拡大予防に努め、まず健康・安全を第一に工夫すればできると活動を再開し、本年は念願の発表会を開催することができました。これは、私たちにとってとても大きな喜びと今後の活動の自信につながりました。県民の皆様にもその工夫と活動の様子をご紹介させていただきたいと思っております。

例年のおおつなごみの会 狂言と小舞の会

- ① 狂言
- ② 小舞
- ③ 連吟
- ④ 番外小舞

第 22 回 おおつなごみの会 狂言と小舞の会（感染症拡大防止対策）

○今回は①狂言と②小舞・④番外小舞の演目だけにし、例年ある③連吟は大勢で謡うため本年は取りやめた。

○出演者及びスタッフは当日の検温・マスクの着用・アルコール消毒を徹底した。また、受付の担当者には、フェイスガード着用を義務付けた。

○楽屋は出演者の着替えのみの使用に限り、出入口もそれぞれ区別して、流れを一定にし、最小限の人数・時間の使用とし、使用スペースを広く確保した。また、マスクを外す鏡の間には、会場と同じ性能の換気用ファンを用いた。

【出入口に区別をし、人の流れを一定にした】



【楽屋 マスク着用と換気の励行】



【鏡の間 直前までマスク着用と換気用ファン】



○観客席は前列2列、前後左右の空席にし、社会的距離を保ち、常時換気用ファンを作動させ、ホールの扉も常時開放した。

【前列 2 列・前後左右の空席】



【能楽ホール 換気用ファン 2 基、受付 2 基】



【常時、扉を開放するお知らせ】

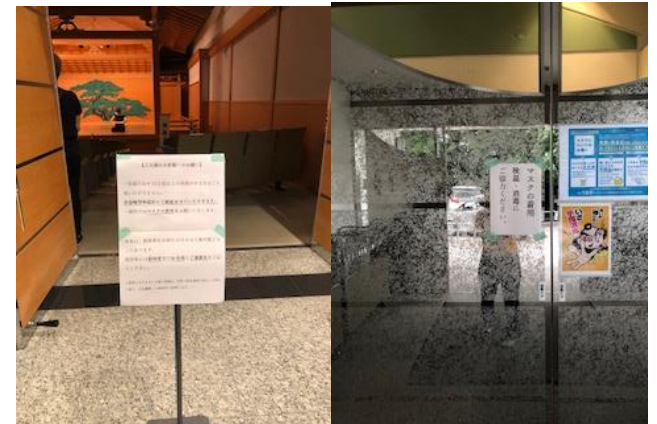


○観客のかたには、今回チケット制（招待券）を取り入れ、入場者も招待のみで（例年はどなたにもきていただいています。）チケットには氏名と連絡先の記入を義務付け、検温・マスクの着用・社会的距離を保つ・アルコール消毒を徹底した。

【名前・連絡先記入するチケット】

【入場の際の検温とアルコール消毒】

【マスク着用をお願い】



○演目の間に休憩時間（20分）を設け、会場とトイレの消毒を行った。



「第22回おおつなごみの会 狂言と小舞の会」～大津市伝統芸能会館にて～

【発表会の様子】（衣装や小道具小道具はすべて茂山家のものをお借りしています。）

「棒縛り」



「仏師」



「第 22 回おおつなごみの会 狂言と小舞の会」～大津市伝統芸能会館にて～

【発表会の様子】（衣装や小道具小道具はすべて茂山家のものをお借りしています。）

「惣八」（茂山宗彦先生出演）



「胸突」



「第 22 回おおつなごみの会 狂言と小舞の会」～大津市伝統芸能会館にて～

【発表会の様子】（衣装や小道具小道具はすべて茂山家のものをお借りしています。）

小舞「放下僧」（茂山家の方々による謡）



「千鳥」（茂山七五三先生出演）その 1



「第 22 回おおつなごみの会 狂言と小舞の会」～大津市伝統芸能会館にて～

【発表会の様子】（衣装や小道具小道具はすべて茂山家のものをお借りしています。）

「千鳥」 その 2



「素袍落」 その 1



「素袍落」 その 2



DVD 制作

毎年、伝統芸能の狂言と小舞の発表会の様子を撮影し、DVD を制作し、記録として残し、販売をしています。

特に今回はコロナ禍であったため、出演など交流のある他府県の方々やこの状況で来場できなかったの方々にも、見てもらうために、DVD 制作は大事な位置づけになったと思います。まだ編集制作途中ではあるが DVD ジャケットデザインと盤面デザインを見ていただきたいと思います。

